

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	06	02	01	164380	森林資源活用事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		1,616	4,084		2,468
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	1,170		1,170
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	1,616	2,914		1,298

特定財源の内訳					
事業期間		単年度繰返		期間限定	~

部重点施策における目標					
-------------	--	--	--	--	--

地元産木材の建築物や燃料への利用を進める					

事業開始の背景・経緯					
------------	--	--	--	--	--

木材の有効活用と特用林産物の生産振興を目的に開始した。					

事業概要					
------	--	--	--	--	--

特用林産施設体制整備事業 0円 (R2へ繰越)					
特用林産物生産資材導入支援事業 639,250円					
木質資源活用支援事業 2,275,224円					

担当部署	13200000 農林部 農村林務	担当課長	菊池 正彦
------	-------------------	------	-------

意見・要望等の状況			

事業手法の詳細 1			
-----------	--	--	--

- 特用林産施設体制整備事業 0円 (予算1,584,000円 予算比 426,000円)  
 特用林産物の経営基盤を強化し、被災地の復興を図るため、生産資材(きのこ原木)の導入を支援する。  
 花巻農協 @176円/本×10,150本×補助率1/2=893,200  
 花巻森組 @176円/本×3,000本×補助率1/2=264,000  
 合計補助額1,157,200円を令和2年度に繰越(繰越予算1,158,000円)
- 特用林産物生産資材導入支援事業 639,250円 (予算900,000円 予算比 260,750円)  
 【課題】原木検査の結果、花巻市産原木は使用禁止となるケースがまだある。  
 原木、ほた木検査をクリアしても出荷前検査で基準値を超過するケースもある。  
 【問題点】生産者の負担増(出荷を目前に出荷停止、東電補償の遅れ・額が未確定)  
 安全なきのこ原木の確保が必要  
 【解決策】原木しいたけ生産の振興のため、安全なきのこ原木の導入に支援を行う  
 農協等の団体が生産者に対する支援事業を行う場合に補助額の1/2を市が補助する  
 花巻農協 @95円/本×10,300本×補助率1/2=489,250  
 花巻森組 @100円/本×3,000本×補助率1/2=150,000

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	06	02	01	164380	森林資源活用事業費

事業手法の詳細 2					
<p>3 . 木質資源活用支援事業 2,275,224円 ( 予算3,078,000円 予算比 802,776円 )</p> <p>( 1 ) 素材搬入場所運営 1,037,300円 ( 予算1,134,000円 予算比 96,700円 )  木質資源の搬入場所において、受け入れ作業と木材管理を行う  業務委託 1,037,300円</p> <p>( 2 ) 木質資源活用支援事業補助金 937,924円 ( 予算944,000円 予算比 6,076円 )  木質資源の活用を推進するため、木質資源の小口買取に要する経費の一部を支援する  運搬経費補助 @1,800円/t × 519.230t = 934,614円  松くい虫被害木買取加算 @1,000円/t × 3.31t = 3,310円</p> <p>参考：針葉樹の小口買取制度概要  [ 森林所有者 ]</p> <p>間伐材・松くい虫被害木等搬入  [ 木材搬入場所 ( 市内3か所 ) ] .....計量、分別、一時保管</p> <p>地域から集積した木材を一括搬入 【運搬経費補助】</p> <p>[ 花巻バイオチップ ( 株 ) ] .....木質資源をチップ化</p> <p>木質資源の代金支払  [ 花巻市森林組合 ]</p> <p>木質資源の代金支払 【被害木買取加算】  [ 森林所有者 ]</p> <p>( 3 ) 花巻市森林作業道開設事業補助金 300,000円 ( 予算1,000,000円 予算比 700,000円 )  木質資源の有効活用推進のため、木材生産者による森林作業道の開設に要する経費を支援する  100,000円 ( 上限 ) × 3者 総延長507m</p> <p>事業費の表の「当該年度決算額」は、当該年度事業費と前年度繰越事業費の合計額です。</p>					

事業手法の詳細 3					
This area is currently empty in the provided image					

平成 31 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
一般	06	02	01	164380	森林資源活用事業費(繰越)

単位：千円

		30年度 決算額(A)	31年度 決算額(B)	次年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			1,158		1,158
財源内訳	国・県		1,158		1,158
	地方債				
	その他				
	一般財源				

※特定財源の内訳

事業期間	<input type="radio"/> 単年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
部重点施策における目標			
地元産木材の建築物や燃料への利用を進める			
事業開始の背景・経緯			
木材の有効活用と特用林産物の生産振興を目的に開始した。			
事業概要			
特用林産施設体制整備事業 1,158千円(繰越) 生産用ほだ木の購入に対する補助			
意見・要望等の状況(市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等)			

担当部署 部名 農林部 課名 農村林務課 担当課長 菊池 正彦

(単位：千円)

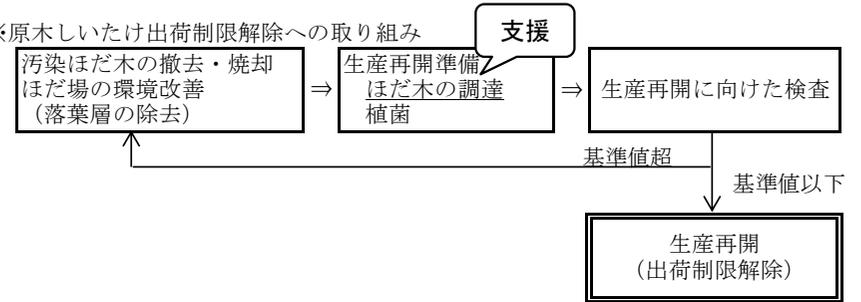
《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

1. 特用林産施設体制整備事業(国庫) 1,158千円(繰越)

特用林産物の経営基盤を強化し、被災地の復興を図る。

- ・取組内容 生産資材(きのこ原木)の導入
- ・実施主体 花巻農業協同組合、花巻市森林組合
- ・事業費 2,314,400円(@176円/本×13,150本)
- ・補助額 1,157,200円(事業費の1/2を市が補助)-財源100%国庫補助

※原木しいたけ出荷制限解除への取り組み



繰越理由：供給不足により、原木調達に時間を要したため

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	06	02	02	164410	森林整備事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		54,055	44,941		-9,114
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	31,890	27,219		-4,671
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	22,165	17,722		-4,443

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間	単年度繰返	期間限定	
			~

部重点施策における目標

地元産木材の建設物や燃料への利用を進める。

事業開始の背景・経緯

森林の多面的機能の増進には不可欠な作業であるため

事業概要

計画的な森林施策を実施  
 森林整備活動支援交付金事業（事務費含む） 2,231,520円  
 森林整備事業 31,366,648円  
 市有林調査業務委託 0円  
 市有林の維持補修及び計画的施策 6,369,205円  
 森林経営計画の作成促進 146,430円  
 民有林保全対策事業 2,065,885円  
 森林・山村多面的機能発揮対策事業交付金 1,326,250円  
 市行造林分収 1,435,352円

担当部署	13200000 農林部 農村林務	担当課長	菊池 正彦
------	-------------------	------	-------

意見・要望等の状況

森林の多面的機能の増進、木材生産の向上のため森林整備（搬出間伐）等を促進や森林施策を計画的に実施するため森林経営計画を作成することが必要であり、作成支援を強化しなければならない。

事業手法の詳細 1

- 森林整備事業 R1 44,941,290円（予算50,544,000円 予算比 5,602,710円）
- 森林整備活動支援交付金推進事務費 0円（予算39,000円 予算比 39,000円）
  - 森林整備地域活動支援 2,231,520円（予算2,648,000円 予算比 416,480円）  
 森林経営計画作成に必要な森林情報収集、合意形成活動、森林調査、境界の確認等を支援する  
 （1）計画未策定森林における計画作成促進  
 大迫、石鳥谷地域 8,000円/ha × 203.94ha = 1,631,520円  
 （2）計画策定森林における境界明確化に向けた条件整備  
 大迫地域 40,000円/ha × 15.00ha = 600,000円
  - 森林整備 31,366,648円（予算31,521,000円 予算比 154,352円）  
 （1）市有林等造林業務 27,847,500円（予算27,848,000円 予算比 500円）  
 再造林 石鳥谷地区 2.25ha 事業費 1,652,400円  
 下刈 花巻、石鳥谷地区 20.88ha 事業費 4,827,600円  
 除伐 東和地区 2.20ha 事業費 499,400円  
 間伐作業道 花巻、大迫、石鳥谷地区 32.37ha、3,944m 事業費 20,868,100円  
 （2）胡四王山周辺森林整備業務委託 3,498,000円（予算3,567,000円 予算比 69,000円）  
 胡四王山周辺は市の重要な観光地であり、その観光資源である森林を守るため下刈、除伐、病害虫の駆除等を行い森林保全整備を行う。  
 業務委託 3,498,000円  
 （3）抵抗性アカマツの補植 21,148円（予算106,000円 予算比 84,852円）  
 東晴山市有林 補植用苗木購入 21,148円
  - 市有林調査業務 0円（予算990,000円 予算比 990,000円）  
 調査を要する施業箇所がなかったため実施せず
  - 市有林の維持管理及び計画的施策 6,369,205円（予算7,675,000円 予算比 1,305,795円）  
 （1）森林管理用備品購入 33,804円（予算53,000円 予算比 19,196円）  
 チェンソー1台、チャブス1着、ヘルメット1個 33,804円  
 （2）維持補修業務委託 3,844,320円（予算4,972,000円 予算比 1,127,680円）  
 滝田市有林 3,844,320円  
 （3）非常勤職員雇用 2,217,844円（予算2,238,000円 予算比 20,156円）  
 非常勤職員1名報酬 1,924,924円（予算1,941,000円 予算比 16,076円）  
 非常勤職員1名社会保険料等 292,920円（予算297,000円 予算比 4,080円）  
 （4）公用車リース 273,237円（予算412,000円 予算比 138,763円）
  - 森林経営計画の作成促進 146,430円（予算200,000円 予算比 53,570円）  
 職員旅費 146,430円

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	06	02	02	164410	森林整備事業費

事業手法の詳細 2

7. 民有林保全対策 2,065,885円（予算4,697,000円 予算比 2,631,115円）  
森林整備の適切な実行を促進するため、森林整備事業で実施した再生林・下刈・除間伐等の経費に対して7～22%の高上げ補助を行う。
  - ・造林 大迫地域 7.79ha 1,476,694円
  - ・下刈 花巻、大迫地域 13.63ha 589,191円
8. 森林・山村多面的機能発揮対策 1,326,250円（予算1,338,000円 予算比 11,750円）  
里山林の持つ多面的機能発揮のため、その整備等に取り組む活動組織に対して支援を行う。  
7団体 1,326,250円
9. 市行造林分収 1,435,352円（予算1,436,000円 予算比 648円）  
市行造林の間伐に伴い、土地所有者に対し、間伐材を売払って得られた金を精算払する。  
東和地域 13者 1,435,352円

事業手法の詳細 3

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	06	02	02	164470	森林経営支援事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		0	23,193		23,193
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	0	23,193		23,193

特定財源の内訳				

事業期間	単年度繰返	期間限定	～
------	-------	------	---

部重点施策における目標
私有林の森林経営を促進させるため、意欲ある林業事業者の育成と森林経営計画の作成を支援する。小規模所有者については私有林を中核に、共同による森林経営計画を推進し、森林の経営管理の高度化を図る。

事業開始の背景・経緯
森林経営計画の策定状況 私有林32,225haのうち5,290ha(策定率16.4%)県全体の策定率24% 中山間の高齢化、不在村化に対応し、経営の受委託の促進が必要。森林経営管理法が平成30年5月に成立し、平成31年4月1日施行。

事業概要
<p>スマート林業の構築(林地台帳と併せた森林情報の一元管理) 14,399,700円</p> <p>(1)森林資源情報の把握・解析 (2)林地台帳の運用 (3)ICT機器等導入支援</p> <p>森林経営の推進(集約化と森林整備の推進) 3,756,797円</p> <p>(1)森林経営の推進と集約化の促進 (2)路網整備及び森林整備支援</p> <p>人材の確保育成 448,880円</p> <p>(1)森林施業プランナーの育成(林業事業者支援) (2)林業労働者の技術向上等の支援</p> <p>里山整備の促進 1,724,000円</p> <p>(1)里山整備等活動支援</p> <p>森林環境譲与税基金積立金 2,863,623円</p>

担当部署	13200000 農林部 農村林務	担当課長	菊池 正彦
------	-------------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細1
<p>1 スマート林業の構築(林地台帳と併せた森林情報の一元管理) 14,399,700円</p> <p>委託料14,252,700円、補助金147,000円</p> <p>(1)森林資源情報の把握・解析 12,767,700円</p> <p>【概要】市内の森林・林業分野における航空レーザ計測及び解析等業務の委託</p> <p>【対象地】大迫・東和地区の一部(レーザ計測4,000ha 森林解析1,500ha)</p> <p>(2)林地台帳の運用 1,485,000円</p> <p>【概要】林地台帳のデータ等更新業務の委託</p> <p>(3)ICT機器等導入支援 147,000円</p> <p>【概要】地理空間情報やICT等の実践的な取り組みに必要な機器導入支援 1件</p> <p>2 森林経営の推進(集約化と森林整備の推進) 3,756,797円</p> <p>需用費55,000円、委託料3,335,200円、原材料費366,597円</p> <p>(1)森林経営の推進と集約化の促進 303,600円</p> <p>【概要】森林経営を進めるための意向調査・個別相談及び森林経営計画作成支援 28.29ha</p> <p>【内容】森林経営計画作成支援 303,600円</p> <p>・私有林と隣接した森林にかかる共同計画の策定</p> <p>(2)路網整備及び森林整備支援 3,453,197円</p> <p>【概要】森林の集約化に必要な路網整備 4か所</p> <p>【内容】既設林道の一部改修、既設作業道の維持管理</p> <p>3 人材の確保育成 448,880円</p> <p>需用費99,680円、委託料299,200円、補助金50,000円</p> <p>(1)森林施業プランナーの育成支援 50,000円</p> <p>【概要】森林経営計画を進めるための森林施業プランナー育成補助 1事業者</p> <p>【補助金】対象経費の1/2(研修・受験費用、旅費、テキスト代等)</p> <p>(2)林業労働者の技術向上等の支援 398,880円</p> <p>【概要】林業労働者の技術向上や人材確保に必要な事業に支援 2回開催</p> <p>【内容】ICT技術セミナー、先進事例研修、技術向上研修の開催</p> <p>4 里山整備の促進 1,724,000円</p> <p>補助金1,724,000円</p> <p>里山整備等活動支援事業補助金 1,724,000円</p> <p>【概要】里山整備等への取り組みに対する補助</p> <p>【交付先】自治会等の地域住民による団体またはNPO法人等の保全活動団体(3名以上)</p> <p>【補助金】補助 里山保全作業研修支援(56千円/回) 該当なし</p> <p>補助 森林保全作業実践支援 10.1ha×(160千円/ha)=1,616,000円</p> <p>補助 里山保全間伐支援 0.4ha×(270千円/ha)=108,000円</p> <p>5 森林環境譲与税基金積立金 2,863,623円</p> <p>積立金 2,863,623</p> <p>【概要】森林環境譲与税基金条例に基づく基金積み立て</p> <p>【内容】森林環境譲与税を法に基づき適正に管理するため、また、単年度で全額活用できなかった場合は、翌年度に繰り越すこととなりますが、法に基づき適正に当該譲与税を管理し、森林整備等に関する施策の費用に充てるため基金を設置するもの</p>